

# 2012-2013年度 IM第7組報告 「IMと絆」

大阪船場RC 会長 片岡 清夫  
                  幹事 中村 一  
IM実行委員長 高階 貞男

我が大阪船場RCは、RI第2660地区（大阪府北部）第7組に属しています。RI第2660地区には8つの組があり、7組は大阪「ミナミ」と呼ばれている商都大阪のど真ん中、大阪府中央区を中心に活動する11のクラブで構成されていますが、クラブ間の交流はなかなか困難な状況にあります。

2011年3月11日の東日本大震災を機に第7組では共同事業を立ち上げようと各クラブの幹部が現地を訪れ、冷蔵庫や軽自動車などを共同で寄贈しました。この未曾有の大災難から立ち上がるために何が大切かを考えたとき、人と人の絆の大切さに思い至ったのでしょうか、メディアからもこの「絆」という言葉がしきりに流れておりました。

私達は、今年度のIMのテーマを何にするか考えた時、この「絆」をキーワードとすることを躊躇なく選択しました。

そして、ガバナーの今年度の方針を斟酌したIMのテーマを「育もう絆を深め未来の力を」と決めました。ここで言う絆は基本的には青少年との絆を大切にしながら、その育成を考えようということですが、同時に、クラブ会員間の絆、クラブ間の絆を深めつつ、目指す奉仕活動に乗り出そうという願いも込めております。3月2日（土）のIM当日は、東京都内の公立中学校初の民間校長を勤められ、地域社会との連携を深めつつ、見事、学校改革に成功され、現在東京学芸大学客員教授をしておられる藤原和博氏に講演をお願いし、上述のテーマについて分かり易く面白いお話をして頂き、参加者に深い感銘を与えることができました。その成果でしょうか、200名の参加会員に用意した講演者の著書が殆ど完売になり驚かされました。

また、第2部として休憩時間のティータイムを利用し、初めての試みとしてミニコンサートを行いました。これは、



各クラブの音楽愛好家が集い数回のレッスンで、ギターとフォークソング、ピアノと室内楽、混声合唱団がそれぞれ他クラブの仲間と合同で演奏し、最後には合唱団と室内楽が合同で東日本大震災の復興応援歌である、NHKで人気の「花は咲く」を演奏し、参加会員全員が心から合唱され、ともに誓い新たに心を通じあえた時、感動と感謝の声で万来の拍手をいただきました。

第3部は「若者は今の社会をどうとらえているか」「若者に伝えるべき変わらない価値は何か」「若者の未来のため、世代間の絆を深めるため、ロータリークラブは何をなすべきか」の3テーマについてテーブルディスカッションが行われ、22テーブルからとても貴重な意見が出されました（後日、記録編集）。

IMのミーティングも兎角パターン化し、著名な先生やタレントを呼び基調講演をもとにテーブルディスカッションを行うなどに集約されてきましたが、今回のIMについては「聴く、歌う、親睦を図る、議論する」という、いわば「研修と友好促進」の二本柱を追求し、更にはRCのあるべき姿が検討され、成功裡に終えることが出来たことは7組の大きな成果と考えました。加えて、約1年の準備期間を通じて、会員同士が結束して行動したことにより、クラブ内の絆もより一層深くなったことも大変な喜びであります。